



# イナツク

～ぼくたちの田舎のつくりかた～



## — 「今晚、泊まらせてください」から始まる筋書きのない物語 —

8月26日(金)、東京の学生約40人が矢板市を訪れた。

滞在期間は「3日間」。イベントを主催するのは、「イナツク」という学生団体。

「イナツク」のコンセプトは、「田舎に第二の故郷をつくろう」。

縁もゆかりもない土地で、2・3人のグループに分かれて、

自ら宿泊交渉を行い「泊めてもらえる家を探し、泊まる」ただそれだけ。

某テレビ番組と似たような企画だけど、知名度も土地勘もない中で、泊まる家を探すのは言葉で言うほど簡単じゃない。だけど、若い学生だからこそできるおもしろい企画だと思う。

今回の特集では、11グループの中から2つグループを選び、3日間密着取材した様子をお届けする。

# CASE-1 チーム紹介

たちき さゆみ  
**立木 紗弓** (21歳)



ニックネーム  
さゆみん  
所属  
聖路加国際大学  
出身地  
東京都

こそぼ ともみ  
**小蕎 知実** (21歳)



ニックネーム  
そばちゃん  
所属  
青山学院大学  
出身地  
神奈川県

8月26日 快晴  
12:00 運命のチーム分け



当日までチーム分けはヒミツ！  
まずは初めましての  
あいさつから！

がんばって、泊まる  
お家を見つけるぞ!!



13:30  
宿泊先探しに出発!

さゆみん・そばちゃんチーム!  
川崎城跡公園から館ノ川地区へ  
宿泊先を探しに出発!

そばちゃん  
荷物は?

あっ... 公園に  
忘れちゃった(^^ゞ



13:45  
宿泊交渉開始!



東京から来ました。  
今晚、泊めてください!

ごめんねえ~  
余分なお布団ないのよ。

14:00  
縁側で休憩!



こんなおいしい  
スイカ初めて~!  
縁側で食べられる  
なんて感動!!

訪れる先々で励ましの声と  
あたたかい「お・も・て・な・し!」  
をしてもらい、うれしかった。

さっきから休憩しか  
してないような...  
でも、おいしいね☆

東京の学生さん?  
暑いでしょ、ジュース  
でも飲むかい?



14:35  
またまた、休憩!!

やったあ~! 高松さん  
ありがとうございます!

うちでよければ  
泊めてやるよ!



15:00  
宿泊交渉成立!

優しくなお父さんとお母さんが  
迎え入れてくれた。明るいうちに  
泊まるお家が見つかって一安心!

新鮮な野菜!  
おいしそうだね!



炭起こして  
難しいなあ...  
上手く付かないや...



16:20  
夕ごはんの準備開始

なんとお隣の高松さんのお家にも  
別のチームが...! せっかくなので  
夕ごはんは合同BBQに決定!  
男子は炭起こし、女子は食材の準備!

17:00  
合同BBQスタート!



庭でBBQなんて  
生まれて初めて!  
みんなで食べると  
おいしいな~♪

近所みんなが大家族みたい  
とっても仲良し! 自然に囲まれた  
生活って、素敵だなと思った。

お母さんが朝からカボチャの煮物を  
作ってくれてびっくり!  
うれしくておいしくてすごくしあわせ♡



8月27日 雨  
6:50 朝ごはん

さゆみん、そばちゃんも  
お手伝いした朝ごはんを  
みんなそろっていただきます~す!

お世話になりました。  
いい思い出になりました!

かわいい娘が  
2人増えたみたいだな。

8:20  
家族そろって一枚!



最初は不安もあったけど、  
本当の娘のように優しくしてくれた。  
本当の家族みたいな感じがする!

9:30~  
ニュースポーツ体験



シャワークライミング楽しみに  
してたのに雨で中止(T\_T)  
みんなで一緒に遊べたから、  
これはこれでまたよし!

17:00  
あんどんまつり



地域みんなが協力して  
作り上げているお祭りは、  
温かみがあってやっぱり魅力的!

あんどんのキラキラに  
テンションMax!  
燈籠流しもいい雰囲気♪

昨日のことなのに  
めっちゃ懐かしい。



22:00~  
フォトフレームづくり

お世話になった人へ  
感謝の気持ちを込めて...

またうちに  
泊まりにおいで!

車の免許を取ったら  
遊びに来るね!



8月28日 くもり  
14:00 お別れのとき

泊めていただいたお礼に、  
ささやかなプレゼント!  
勇気を出して参加して本当によかった。

今回、2人を泊めていただいたのは  
高松 彌さん、千恵子さん、樹世美さん  
の3人家族。おもてなしの心で  
温かく迎え入れてくれました。  
ありがとうございました。

# CASE-2 チーム紹介

まえだ たかゆき  
**前田 剛志** (24歳)



ニックネーム  
たかちゃん  
所属  
明治大学大学院  
出身地  
滋賀県

しん ゆうすけ  
**進 優介** (22歳)



ニックネーム  
しんちゃん  
所属  
早稲田大学  
出身地  
千葉県

こにし えりか  
**小西 瑛理香** (22歳)



ニックネーム  
こにたん  
所属  
成蹊大学  
出身地  
千葉県

がんばって、泊まるお家を見つけるぞ!!



8月26日 快晴  
13:30 出発!  
たかちゃん・しんちゃん・こにたんチーム  
川崎城跡公園から川崎反町地区へ  
僕たちの家族探しに出発だ!

すごい!  
一面田んぼの風景なんて  
初めて見たよ!



14:00 ~  
宿泊交渉開始!



東京から来ました。  
今晚泊めてください!  
泊めてあげたいけど、  
急に言われても、  
困るなあ...

もちろんです!隣に畑があるから、新鮮な野菜が食べられるんですね! うらやましいな~!

夕ごはんのお手伝いしてくれる?



16:00  
お母さんと談笑中

お母さんが手作りの特製シソジュースで出迎えてくれました!

やったあ~♪

えっ...泊まりたいって? 別にいいわよ!



15:30  
松井さん家に宿泊先決定!

出発から2時間。ようやく泊めてもらえるお宅にたどり着く。お母さん、ありがとう!

まだ行ってない家ってある? 暑いし疲れたよお~



15:20  
20軒近く訪ねるも..

ほかの学生さんたちがお願いに来たから、OKしちゃったわよ!



ええっ~! (T\_T)

14:40  
差し入れで一息



冷たい飲み物の差し入れが! 近所の方がわざわざ追いかけて届けてくれた!感動!!

18:00  
家族そろって夕食!



家族そろっての団らん。お父さんは僕たちに興味津々。わきあいあいでのいい感じ!

いただきます! お母さんのカレーうまっ!!

矢板の人も自然も大好きになりました! また松井さん家に遊びに来ていいですか?

みんなの布団はそのままにしておくから花火大会においで! 楽しい時間をありがとう!

いつでも泊まりにおいで!

お世話になりました。お父さん いったらっしょい!



8月27日 雨  
6:30 みんなで記念撮影  
お父さんが仕事に行く前に、みんなで記念撮影。すっかり家族に。別れ際の一言がうれしかった!

キンボールめちゃくちゃ楽しいんだけど!



みんなで作った矢板産のおかずがいっぱいの朝ごはん。

手作りのあんどんがすごくキレイ! みんなでお祭りを創り上げてる感じが最高!

17:00 ~  
あんどんまつり



あんどん点火のお手伝いから参加。恋チュンを会場のみんなと踊りました。矢板の人はノリがイイね!

みんなの思いが隠し味になっておいしいよ! カレーで始まりカレーで終わるなんて不思議な縁を感じるわ!



8月28日 くもり  
12:00 手作りの風ごはん

お世話になったお家の人に、お礼の気持ちをたっぷり込めてカレーを作り、振る舞いました。



14:00  
お別れするとき  
残念だけどお父さんは今日も仕事。お礼にフォトフレームを贈ります。ありがとうございました。

今回、3人を泊めていただいたのは松井 美基生さん、悦子さん、娘さんの3人家族。おもてなしの心で温かく迎え入れてくれました。ありがとうございました。



# 若者が感じた 矢板の魅力！



## イナツク × やいた = 魅力発見！

## 人 × 人 = 新たな絆、新たな故郷



イナツク運営のみなさん

佐藤 汰樹さん 末吉 加奈さん 西方 萌さん 天見 つかさん 青木 寛さん 樋谷 はるかさん 初野 優花さん 大塚 雅己さん

### 『イナツク』ってなに？



代表 青木 寛さん (中央大学3年)

平成26年5月設立したイナツクは、現在8人のメンバーで運営しています。いなか第二の故郷をつくらう(=イナツク)をコンセプトとして、首都圏に住む大学生に地方の暮らしがどういうものか体験・経験してもらうことで、学生が未来について考えるきっかけづくりを行うとともに、都会の学生と田舎の方々をつなげる仕掛けづくりに取り組んでいます。

### 『イナツク』の魅力

「家を探して、泊めてもらう。」言葉にしてしまえばそれだけですが、それでは伝わりきれない魅力が、このイベントにはあります。昨日まで「聞いたこともなかった町」が、今日からは「大切な人に出会えた町」になります。昨日までの「知らない人」が、「一生の友人」になるかもしれません。新しい人と人のつながりが生まれ、それをきっかけとして、将来的に地域の活性化につながれば、と考えています。

### 運営に携わって...

- 都会では経験できない、矢板ならではの貴重な体験をすることができた。将来的にこの経験を生かしていきたい。(佐藤)
- 住んでいる人にもそうでない人にも分け隔てなく同じ距離感で温かく接してくれる人柄に魅力を感じた。(末吉)
- いろいろな方に協力してもらって初めて実現できた企画なので感謝している。時間がゆっくり流れる素敵な場所だと思う。普段感じることでできない自然の音を間近で感じられた。(西方)
- 運営を通して矢板の魅力をより深く知ることができた。矢板での素敵な経験をこれからの人生に生かしたい。(天見)
- 運営側として、参加者と矢板市の方、両方の視点で楽しい企画を考えることを意識した。みなさんの心からの笑顔を見られたことが嬉しかった。(樋谷)
- 故郷と呼べる場所が今までなかった。矢板の方と触れ合えて、故郷にしたいと思えた。これから何度か訪れて、心から私の故郷といえるような場所にしていきたい。(初野)
- 道端など歩いていて地元の方と自然に会話が生まれる経験を今までしたことがなかった。いきなり来た僕たちを歓迎してくれる。人としての温かさを感じた。(大塚)

### 参加した学生が感じた矢板の魅力！

人と人との繋がりが温かくて心地よかった。自分だったら泊めるのはためらうと思うけど、そんな中泊めてくれた家の人に感謝しきれないし、すごく嬉しかった。(佐藤 大介)

お父さんの畑で採れたきゅうりの漬物が最高だった。近所の人を呼んで夕ご飯を一緒に食べるなんて、初めての経験で、人と人の繋がりの深さにびっくりした。(秋山 佳奈江)

たくさんのおもてなしをしてもらい、そのおもてなしの分だけ体重が増えたと思う。「またおいで」って言ってもらったのが嬉しかった。(小池 ジョイス)

自分も矢板のような自然豊かな、人と人が強く繋がっている、そんな環境で育ちたかった。これからも田舎を中心にあちこち巡ってみたい。(川下 将司)

日常と違う場所で過ごせたのがとてもいい経験になった。お家の人にも優しい方たちで、まさしく第二の故郷「イナツク」になった。(能瀬 裕介)

お泊りしたお宅のお父さん、お母さんにとってもよくしてもらった。近所全体が家族同然で生活しているところが魅力的だった。(安藤 滉基)

### 地域が一步前に踏み出した！

東京の学生が民泊をしに矢板に来るって話を最初に聞いたとき、みんな戸惑ったと思う。誰も経験したことはない、受け入れるにしてもどんな学生が来るかわからない。初めて話をもらった時は、私も漠然とした不安を感じたことを覚えているよ。「イナツク」という団体の説明を詳しく聞く中で、ある程度信用できる団体であることは分かったし、何より矢板に縁もゆかりもない学生たちが矢板に魅力を感じて、

第二の故郷にしたいという想いに何とか応えてあげたいと思ったんだ。今回、川崎反町、館ノ川、境林地区で30名以上の学生を泊めたようだけど、「イナツク」を迎え入れたお宅に話を聞くと、「子どもや孫が帰省したようで楽しい時間を過ごせた」とか、「受け入れていい思い出になった」と感想がほとんどだったから、勇気を持って「イナツク」の受け入れをしてよかったと思ったね。若い力が地域を動かし、一步前に踏み出させてくれた。矢板が変わるきっかけを「イナツク」が作ってくれたと思うよ。



川崎反町行政区長 石塚 哲雄さん

